

交換留学 定期レポート(2025 年 5 月)

4月13日から15日にソンクラーンと呼ばれるタイのお正月がありました。大学ではstudy break と呼ばれるテスト期間と Songkran Festival の休暇で2,3週間の休みがありました。

タイではお正月に「水かけ祭り」といわれるイベントが行われます。もともとは仏像などに優しく水をかけてお清めをする行事のようですが、現在は水鉄砲やバケツで水を掛け合う派手なイベントともなっています。

この水鉄砲を使った水かけ祭りのイベントは決められた地区のみで許可されているようで、私の住む地域は店などが閉まりいつもより静かな雰囲気でした。

一方で水かけ祭りが許可されている地区では路上で水鉄砲が売られ、たくさんの人が行き交います。通りは歩行者天国に整備され、完全にイベント用のスペースになっていました。あまりの人の多さと勢いで、私は水のかからないスカイウォーク（駅から商業施設などまで繋がる歩行者専用空中通路）から覗くことにしました。

参加者は観光客が多そうですが、通りに面した店の店員さんなども参加している様子でした。無料の給水スポットもあり、服が乾く間がないほど常に水かけが行われます。しかし、すべての水が綺麗とは限らないので携帯などの保護はもちろん自分の目や口に水が入らないように注意が必要です。



13日から15日まで閉店



水鉄砲の販売



水かけ祭りの様子

お正月の休暇を活用してベトナムへ旅行に行きました。

タイ出国時には、ビザを利用して再入国するための手続きが必要です。リエントリーパーミットと呼ばれる書類を記入して空港などで提出をします。

ベトナムはタイから飛行機で約2時間で到着します。気候はタイよりもやや涼しく比較的過ごしやすかったです。

タイとベトナムは同じ東南アジアエリアにありますが、気候や街の雰囲気、料理などは異なります。タイ料理は辛いものも多いですがベトナム料理は全体的にあっさりとしていました。

ベトナムは韓国人の観光客が多いようで客引きは基本的に韓国語で呼びかけをしていました。タイでは中国語と日本語が多いのでここも異なる点だと感じました。

タイはバイクの交通量が多いですがベトナムはそれ以上でした。ベトナムのバイクはあまり止まってくれません。そのため、道を渡るタイミングがとても難しく周りの知らない人と一緒になって渡ります。

タイとはまた違った文化や雰囲気を楽しむことができ、とても有意義な休暇になりました。



バインセオ



ホイアンの旧市街地



ミーケビーチ

私の通っている学部は、課題として実際に現地へ行くことや模型を作って提出することがあります。

インテリアに使われる素材や仕上げに関する授業では、グループでレストランや美術館などを訪れ、実際にどのような素材が使われているかを見に行きました。

同じグループの人たちはインテリアデザインに詳しく、見たものの名前や細部のこだわられているポイントを教えてくれました。私はインテリアデザインについての知識があまりないのでとても勉強になりました。

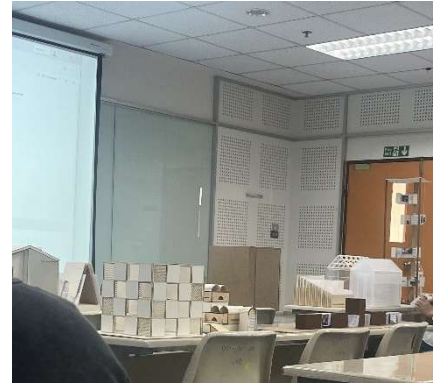
別の授業では建築家とその作品を紹介する課題がありました。調べた内容をプレゼンし、内容に関連するようなポートフォリオを作るものでした。私は本のような平面的なポートフォリオをイメージしていましたが、実際には私のグループ含めみんな立体的な模型を持ってきていました。

大学にはレーザーカットの機械があり、学生はこれを使いつつたくさんの模型を作ります。デザイン系の学科がたくさんある学部なので創作活動に熱心な学生が多いように感じます。そこまでこだわるのかと思うこともたまにありますが、先生側も独創的なものを求めているようです。

学校の雰囲気や方針の違い、それに適応する学生の様子も感じる事ができました。



訪れたレストランとアートセンター



課題で提出された模型たち